

## 『ふれあい・学びあいを生かした学習指導の充実』

秋竹小学校

### 1 目的

- ・ 体験的な活動を積極的に取り入れ、心豊かな児童を育てます。
- ・ 地域の人材や教材を活用したり、外部の専門家による授業を行ったりすることで、幅の広い学習活動を行うとともに、さまざまな方々との触れ合いを通してコミュニケーション能力を高めます。
- ・ 児童にとって安心できる学校・学級となるよう、児童の実態を客観的に捉え、それに応じた指導や支援を行うための職員の力量向上を図ります。

### 2 内容

#### (1) 体験活動の充実

地域の方々の協力を得て、各学年、地域教材を活用した体験活動を行いました。

- ・ 1年生 … 地域の方々との触れ合い活動（ふれあいサロンの訪問）  
地域の方々との昔遊び体験
- ・ 2年生 … 地域のお店の見学  
（コンビニエンスストア、ドラッグストア、精肉店、食パン店など）
- ・ 3年生 … 味噌づくり工場、スーパーマーケットの見学
- ・ 4年生 … 七宝焼制作
- ・ 5年生・6年生 … 田植え体験 ※稲刈り体験は、天候不順のため中止となりました。

#### (2) 外部機関の活用

外部機関の活用として、自分の将来について考える「ドリームマップ」（4年生）や災害時に備えた防災教育として、全学年を対象に「防災教室」を実施しました。今年度の防災教室では、あま市防災ネットの方々にお申し、6年生の活動において、避難所でお手伝いができるよう、避難所用テントの設置の活動を取り入れていただくようお願いしました。使用したテントは、あま市危機管理課に許可をいただき、学校の防災倉庫で保管しているテントを使用させていただきました。講師の方々に教えていただきながら、グループで協力して設置する中で、「これなら組み立てられるね」「意外と簡単だね」などの声が聞こえ、有事の際には自分たちにもできることがあると実感できたようで、災害に備えた実践的な活動となりました。



【講師の先生から学び製作した己書】

#### (3) 指導力の向上

校内教職員研修として、元津島市立南小学校長の長谷川修三先生、エンカウンター講師の奥村桂子先生をお招きし、困り感をもった児童に対する理解の仕方や指導・支援の方法、学級づくり等をご指導いただきました。また、元小学校教師の村松小智子先生に、出前授業をしていただくとともに、児童の実態に合わせた学級づくりのポイントについて具体的に教えていただきました。

これらは全て、児童への指導・支援、また学級づくり・授業づくりの充実に生かすことができました。

### 3 評価

- ・ 郷土の伝統的な産業の体験や農業体験を通して、地域に対する関心や学習効果を高めることができました。また、さまざまな方々との触れ合いの中で、感謝する気持ちを育むことができました。
- ・ 外部講師による専門的な授業は、児童の知的好奇心を高め、視野を広げることにつながりました。
- ・ 児童理解や学級づくり等、教員としての資質・能力を研修を通して高めたり、更新したりすることができました。この学びを、日々の学級経営に生かすことができるよう努めました。

### 4 課題

小規模校であり、地域の人材や教材を活用することの大切さを強く感じています。学校規模や地域の特性を教育活動に最大限生かせるように、ねらいや目的、学習との関連性を明確にしたり、児童が追究したいと思うような活動にしたりしていく必要があると考えます。

## 『ふれあいを大切にした体験活動の充実』

秋竹小学校

### 1 目的

- ・ 自分の思いを表現することの心地よさを味わわせ、よりよい自己表現をしたいという意欲を高めるとともに、表現力の向上を目指します。
- ・ 学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、一人一人の社会的自立に向け必要な資質・能力を育てることを通して、児童のキャリア発達を促します。

### 2 内容

#### (1) 心の表現・心の交流の推進

小中交流の芸術鑑賞会では、プロの演奏家による生の演奏を聴き、七宝北中学校生徒や宝小学校児童との交流を行いました。また、専門の講師を招いて、3年生から6年生の児童を対象に、「己書」の活動を行いました。児童の自由な発想を大切に活動であるため、どの児童も意欲的に自信をもって作品づくりに取り組むとともに、筆で自分の世界観を表現することの楽しさを味わいました。



【職業人から学ぶ～講話～】

#### (2) 人とふれあう活動の推進

キャリア教育学習では、七宝醸造の醤油職人である後藤昌弘氏、パティスリー・パリジャンの社長である松田和也氏をお招きし、仕事のやりがいや大切にしていること、また、人として大事にしてほしいことについて講話をしていただきました。講話を通して、挨拶することや人を思いやる気持ちをもつことなど、今でも大事なことは、大人になってからも大事であると、具体的なお話を通して知ることができました。

### 3 評価

- ・ 小中交流会を通して、プロの演奏家による生の演奏を聴くことは、感受性豊かな小学生にとって、音楽を愛する心を育むための貴重な機会となりました。宝小学校児童や七宝北中学校生徒と交流することを通して、中学校進学に対する前向きな気持ちをもつことができました。また、己書の取組では、どの児童も意欲的に自信をもって作品づくりに取り組みました。作品からは児童の豊かな発想力がうかがえ、自分の作品をうれしそうに見る児童の様子からは自信をもって自分の思いを表現することの大切さに改めて気付かされました。
- ・ 専門的な知識や技術をもっている職業人の講話を聴くことで、社会で働くことの楽しさややりがいを知るとともに、人として大切なことについての理解を深めることができました。実際の体験を交えて話をしてくださったことで、児童にとっては身近な話として捉えやすく、これまでの自分を振り返ったり、将来について考えたりするきっかけとなりました。

### 4 課題

己書の活動については、活動を通して見られた豊かな表現や表現する喜びを、他の活動や教科につなげる工夫が必要であると考えます。また、キャリア教育学習については、特別活動や総合的な学習等との関連を図りながら、年間を通してより系統的な教育活動とし、教育効果を高めていきたいと考えます。